

苦小牧市立大成小学校改築基本計画（案）に寄せられた意見と市の考え方について（パブリックコメントの結果）

意見提出期間 令和6年2月21日 ～ 令和6年3月21日（30日間）

意見提出人数 1人

提出意見件数 1件

提出意見と市の考え方・提出意見を考慮した結果とその理由 次のとおり

項目 No.	提出 人数	提出された意見 (意見提出区分 第三者利益による削除等の有無)	提出された意見に対する市の考え方 提出された意見を考慮した結果とその理由	反映区分
1	1	<p>(<input checked="" type="checkbox"/>原文・整理要約 有・<input type="checkbox"/>無)</p> <p>ゼロカーボンシティ宣言において、「今後の建築物について、原則 ZEB oriented 相当をめざし」とあるため、大成小学校においても同様の設計を行うと思われるが、ZEB oriented の要件は、「延べ面積が 10,000 平米以上の建物」である為、今回の大成小学校はこの要件を満たしていない（延べ面積：6094.19 平米）。</p> <p>本来であれば、ZEB oriented より高い目標となる Nearly ZEB や ZEB Ready を目指すことになると思うが、大成小学校はどこまでの設計を目指すのか。ZEB oriented の特例要件である「A) 事務所等、学校等、工場等は 40%以上の一次エネルギー消費量削減」を目指すことになるのかお聞きしたい。</p> <p>大成小学校が苦小牧市内初の ZEB 型公共施設となることを、切に願っています。</p>	<p>苦小牧市では「第4期苦小牧市役所エコオフィスプラン」において今後予定する新築の公共建築物については原則 ZEB Oriented 相当以上※とすることを目標としています。</p> <p>新しい大成小学校では、ZEB Ready(一次エネルギー消費量 50%以上削減)の達成を目標としています。具体的には、屋内運動場を校舎と一体とすることで熱の逃げづらい建物とし、また、高効率な空調設備の導入や、LED 照明の導入などにより、標準的な建築物よりもエネルギー消費量を抑える計画としております。</p> <p>より良い学校施設となることを目指すとともに、ZEB 型公共施設となるよう、引き続きさまざまな検討を重ねてまいります。</p> <p>※「ZEB Oriented 相当以上」とは次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務所等、学校等、工場等：一次エネルギー消費量 40%以上削減 ・上記以外：一次エネルギー消費量 30%以上削減 <p>なお、エコオフィスプランでは、必ずしも ZEB シリーズの認証を受けることを目指すものでなく、ZEB シリーズ相当の省エネ性能の達成を目標としています。</p>	E

反映区分	提出された意見の反映状況
A	意見を受けて案を修正したもの
B	案と意見との趣旨が同様と考えられるもの
C	案を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの
D	案に取り入れなかったもの
E	案の内容についての質問等

「原文」とは、提出者の氏名、連絡先等を除いた提出された意見そのものであり、整理、要約、削除等をしていないものをいいます。担当課において、原文の備付けや閲覧による対応が必要となります。「整理要約」とは、提出者の氏名、連絡先等を除いた提出された意見を整理、要約、削除等をしたものをいいます。

なお、「原文」・「整理要約」のいずれの場合であっても、第三者の利益を害するおそれがあるとき（個人のプライバシーに係る事項、企業秘密等）や、その他正当な理由があるとき（提出意見を公にすることにより公益上の支障があるとき等）は、その部分について除くことができます。